

編集部 滑稽俳句を始められたきっかけは？

相原 二十年程前に「糸瓜」の篠崎圭介先生に師

事していたのですが、先生が亡くなって俳句から遠ざかっていました。四年ほど前に八木会長の句会に参加させていただいたことがきっかけで滑稽俳句を始めました。

編集部 滑稽俳句の魅力とは？

相原 面白さが俳句の世界に広がりをもたらします。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

相原 俳句の本質であり、読者に「あっ、なるほど」と感じさせられるものですね。

編集部 滑稽俳句を始めて良かった事は？

相原 写生の仕方、表現のリズムが変わってきたことと、句に詠む対象と楽しく対話が出来ようになったことです。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

相原 なかなか難しい質問ですね。単に滑稽な言葉を取り合わせるのではなく、対象に寄り添って本質を大袈裟に表現してみることでしょうか。

【代表句】

箱眼鏡地球の底を覗き込む
人の世は世知辛きもの水盗む
ハグの泡溢るる蟹の交りかな
隊列の乱れさうなる蟻の兵
花に酔ふなり人に酔ひ酒に酔ひ